

平成 29 年度用教科書では以下について訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

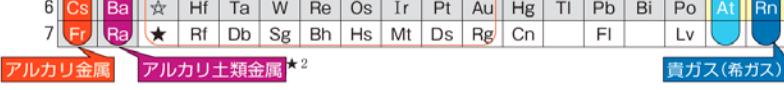
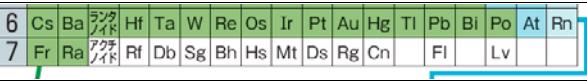
(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂正理由
ページ	行			
22	図	分離された硝酸ナトリウム	分離された硝酸カリウム	誤記

改善のための訂正

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂正理由
ページ	行			
28	図 16	気体から固体への変化も昇華という場合がある。	気体が固体になる変化を凝華ということがある。	日本化学会化学用語検討小委員会の提案による
50	18	希ガス（貴ガス） (下記のページにおいても貴ガスの用語を主とする修正を行います。) p.46,p.47,p.48,p.50,p.51,p.53,p.57,p.61,p.156	貴ガス（希ガス）	

◆周期表の更新のお知らせ◆

ページ	行	平成 29 年度用
卷頭①②		(p.①左上の説明文を更新) 最新(2016年)の原子量を基に (p.②イッテルビウム ₇₀ Ybの原子量を更新) 173.0 (p.①左下の説明文に一文追加) 原子番号100～118番の元素の性質は不明である。 (原子番号100～112番, 114番, 116番のバックの色) 灰色に変更 (原子番号113番, 115番, 117番, 118番の欄)  (p.①②に脚注を追加) 2016年6月, ①原子番号113番ニホニウムNh, ②原子番号115番モスコビウムMc, ③原子番号117番テネシントSs, ④原子番号118番オガネソンOgという元素名と元素記号の案が発表され, 正式決定を待っている。
51	図21	
71	表6	
卷末⑤⑥		(p.①②と同様に修正)

更新した周期表は、弊社 HP にてご覧いただけます。

<http://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/catalog/text/teisei/kou/h-scie.htm>